

日本学術会議 地球惑星科学委員会 IUGG分科会 IAGA小委員会（第25期・第2回）

日時：2023年 2月 8日（水）17:00～18:05

会場：遠隔会議（Zoom）で開催

出席者： 中村（卓）、中村（正）、清水、能勢、塩川、山本、Liu、佐藤、馬場
（敬称略、全員ビデオ会議による出席）

欠席者： 山崎、藤（敬称略）

1. 前回議事録の確認がなされた。

2. 経過報告

- 中村委員長より、参考資料1を基に第25期日本学術会議地球惑星科学委員会の組織構成が説明され、IUGG総会への代表派遣（旅費支給）の申請をIUGG分科会を通じて2件申請したことが報告された。
- Liu委員より、資料2-1に従って、ECの報告があった。Resolution案の支持、IAGAの各賞推薦、EC推薦委員会の状況、スクールの開催の報告の他、ワークショップ開催へのIAGAの支援を積極的に利用して、ワークショップ参加の若手研究者の賞への推薦権を獲得するべきとLiu委員より提案があった。IUGGのIAGA関係ハイライトを議論中であると報告された。なお、ワークショップ支援の締め切りは毎年5月末と11月末、半年から1年以上先の概ね50名以上の会議を支援する。申請書の例はLiu委員に相談可。
- 能勢委員より、資料2-2に従って、Division Vのレポートがなされた。スクールの準備状況、5月開催予定のハンガリーでのワークショップ、IGRF-13の公開とEPS特集号、データ・指数へのDOIの付与などが報告された。
- 馬場委員より、資料2-3に従って、Division VIのレポートがなされた。Electromagnetic Induction Workshopが2022年9月にトルコでワークショップの報告があり、次回2024年9月に別府市で開催する予定である。SGEPSSメンバー約20名がLOCを務める。

3. IUGG総会について

- 委員長より、資料3に基づいて、IUGG総会のアブストラクト、登録締め切り、セッションリストなどについて確認がなされた。

4. IUGG総会以降の体制について

- 資料4-1, 4-2に基づいて、第26期の体制について意見交換がなされた。

以上